



# 夢咲き

学校長通信 (学校長発行)  
2024年度11月号 (No.7)  
宮古島市立平良中学校

## 未来講話 「夢」に向かったの**第一歩**!

講師に本校卒業生  
荷川取 秀明 氏



← 写真は荷川取氏 提供 →

11月5日 本校卒業生「荷川取秀明 氏」をお招きし未来講話を実施しました。平良中学校を平成9年に卒業した同氏は、甲子園出場を果たすことを胸に秘め、沖縄尚学高校へ進学、寮生活を送りながら仲間と共に文武両道に徹しながら、甲子園出場を目指してきた。そして、1999年3月に開催された「第71回選抜高等学校野球大会」に出場した沖縄尚学高校は、準決勝でPL学園（大阪）に延長12回の末8対6で勝利、決勝では水戸商（茨城）を7対2で破って、**沖縄県民悲願の甲子園初優勝**を成し遂げました。同大会において、同氏は、1番サードで大活躍し優勝に大きく貢献しました。『以下 同氏の講話より』

『私が大切にしてきたこととして文武両道があり、さらには**一所懸命の精神**があります。授業など学校でやるべきことは学校で終わらせることを心がけ、その所々で勉強・部活動、遊びにも一所懸命に取り組んできた。その1つ1つの積み重ねが自分の道を切り開いていくことになると考えている。また、平良中学校の先輩として、いくつか伝えますが、**失敗は成功への通過点**と言います。いろんなことに挑戦していくこと、あの時やっておけば良かったと後悔しないよう、失敗を恐れず、いろんなことに挑戦してほしいと思います。そして、いろんなことに挑戦していく上で、**周りに流されない強さ、間違っただ多数決に流されない自分の意思を貫く強さ**をもってほしいと思います。何か挑戦する途中で判断を誤ってしまうと、取り戻すことはできても遅れをとってしまう。普段から自分の中で「**やっていいこと**」と「**やってはいけないこと**」の**区別**をしっかり持つておくことが大切です。』

『最後にメッセージとして、一人一人違っていいと思います。自分がこうなりたい、ああなりたいという気持ちを持って頑張っていくことが大切なのかなと思います。その中でも、**人に対する思いやり、優しさ**は持ってほしいなと思います。**自分に負けない、その強さがあれば、人に優しくできる**と思っています。後輩の皆さん一人一人が「**自分の道を自分で切り拓く**」ことを期待し、本日の講演を終わりにしたいと思います。』

### 荷川取秀明氏プロフィール

経歴：H8年度平良中卒→沖縄尚学  
→筑波大→松山聖陵（野球部監督）  
●高校在学中  
センバツ高校野球1999年（優勝）  
全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）1999年（2回戦）  
●監督  
全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）2016年（2回戦）  
センバツ高校野球2018年（2回戦）  
センバツ高校野球2019年（1回戦）

## 示せ! 「学級の団結」感動の「第45回校内合唱コンクール」



左から順に 2年1組・1年5組・3年4組 (各学年金賞受賞クラス)

11月12日 この日の午前中、マティダ市民劇場にて第45回校内合唱コンクールが開催されました。多数の保護者が参観する中、2学年の合唱を皮切りに、1学年、そして3学年の順で合唱が披露され、各学級の合唱を通して学級全体が、あるいは、学年、学校全体が一体となった素晴らしい行事となりました。審査委員長を務めていただいた「**宮国貴子先生**」からの講評では、「どの学級も、歌詞を歌声に乗せ素晴らしい合唱を存分に披露してくれました。鑑賞態度もとても良く、まさに各学級の心を感じる「**心歩**」、SHINPOを遂げた合唱コンクールでした」とのお褒めの言葉をいただきました。また、3年生を代表して**松原香帆さん**からは、「中学校最後の合唱コンクール、昼休みや放課後の練習を積み重ね、後輩の皆さんに少しは良いお手本になったのではと思います。ここまで、いろいろなことを乗り越え、一致団結してクラスの仲間もこれまで以上に深まりました。このチームワークを活かして、これからやってくる**受験や目標達成に向けてみんな**で心一つに頑張っていきたいです。」と宣言、感動の合唱コンクールを締めくくりました。

